

第3章 住民ニーズの実態(高齢者要望等実態調査の結果)

1 調査の目的

介護保険事業運営の基本計画となる「介護保険事業計画」は、介護保険法で3年ごとに見直すことが定められており、また、市町村高齢者保健福祉施策の基本計画である「高齢者保健福祉計画」についても、介護保険事業計画との関連性及び整合性を図る必要があることから、同時期に策定を行います。本調査は、両計画の見直しのための基礎資料を得ることを目的として、佐賀全県下において統一内容で実施しました。

2 調査基準日 平成19年10月1日

3 調査の区分

調査名	調査対象者	調査方法
①在宅者(要支援)調査	要支援認定者	郵送
②在宅者(要介護)調査	要介護認定者	郵送
③施設入所者調査	介護保険施設入所者	郵送
④特定高齢者調査	特定高齢者	郵送
⑤一般高齢者調査	65歳以上の一般高齢者	郵送
⑥第2号被保険者調査	40歳～64歳の第2号被保険者	郵送

4 回収状況

調査名	調査数(件)	有効票数(票)	有効回収率(%)
①在宅者(要支援)調査	378	238	63.0
②在宅者(要介護)調査	713	311	43.6
③施設入所者調査	296	188	63.5
④特定高齢者調査	31	25	80.6
⑤一般高齢者調査	914	545	59.6
⑥第2号被保険者調査	586	308	52.6

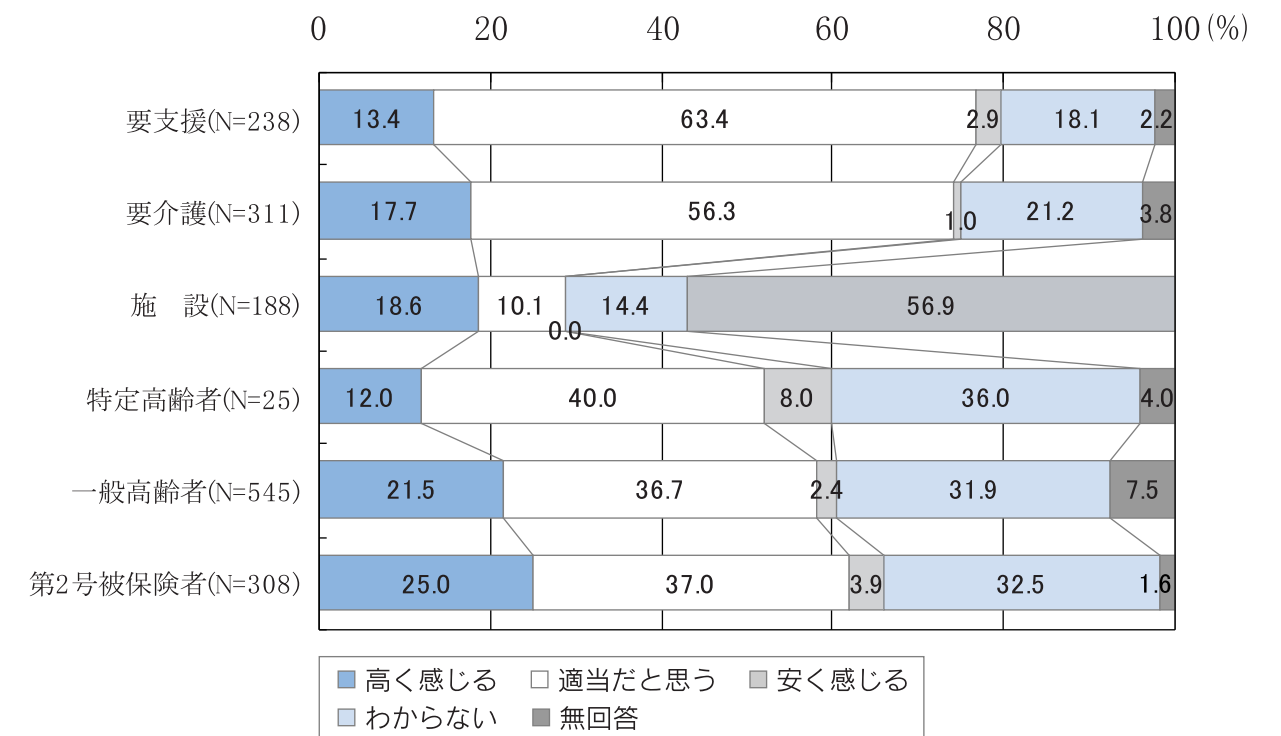
5 介護保険サービス及び保健・福祉サービスについて

(1)介護保険料(1割負担)について

現在、何らかのサービスを受けている「要支援」「要介護」の受給者は「適当」がいずれも過半数を超え、「高い」が20%未満である。これに対して非受給者である「一般高齢者」「第2号被保険者」は「適当」が40%未満、「高い」が20%を超えるなど、保険料のみを納めながら介護サービス受給が経験のないことから、払いつばなしという意識が強く示されています。

対象者の属性が共通な一般高齢者と比較すると、前回の「適当」35.8%、「高い」19.7%に比べ、若干割高感が増しています。

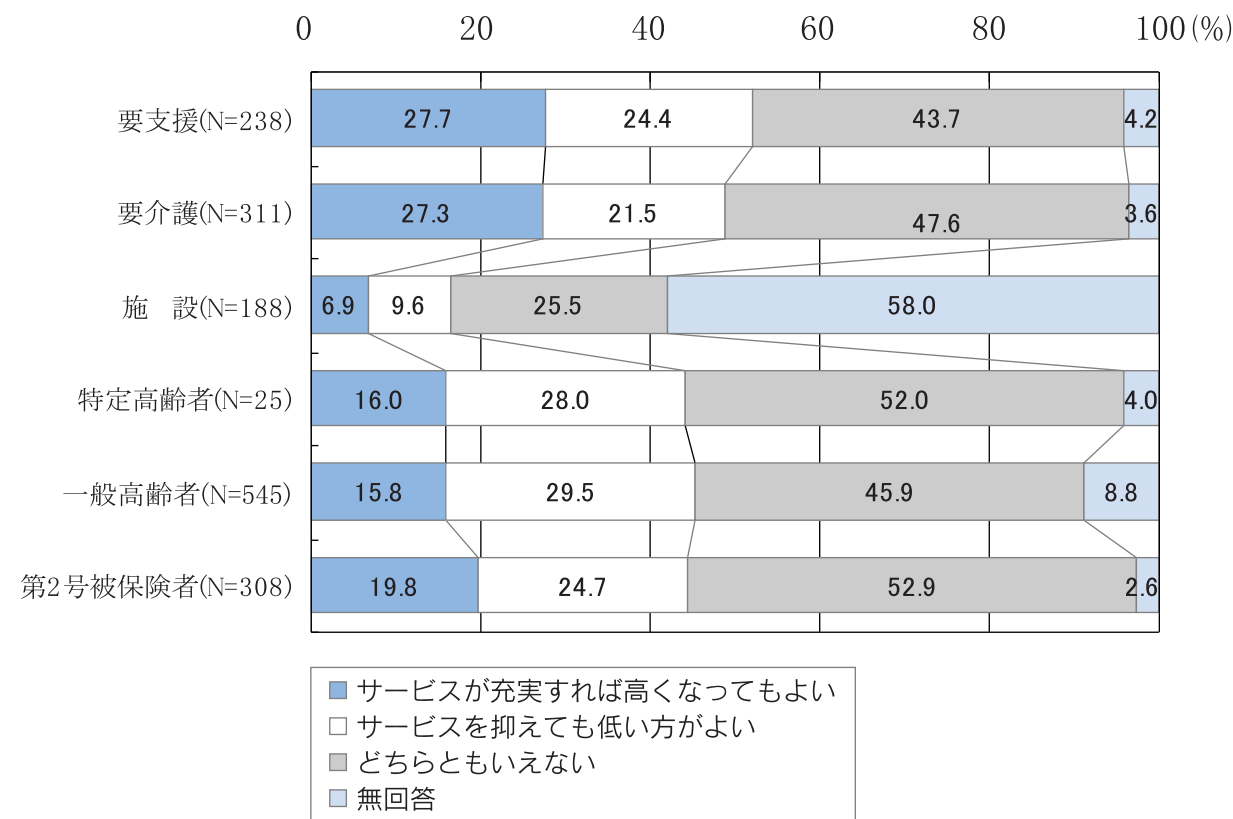
施設入所者では、「高い」(今回18.6%、前回2.0%)、「安い」(今回14.4%、前回5.0%)が大きく増加しており、量・質両面でのサービス内容についての理解度が深まっているためか、それらに対する評価が明確になってきていることを示しています。



(2)介護保険料と介護サービスのあり方について

介護保険料と介護サービスのあり方では、サービス受給者は「要支援」「要介護」とも「サービスが充実すれば高くなってもよい」の方が、「サービスを抑えても低い方がよい」を上回っているのに対し、「一般高齢者」「第2号被保険者」は反対に「サービスを抑えても低い方がよい」の方が上回っています。

特に、「一般高齢者」は差が大きく、捉えかたにサービス受給者、非受給者で大きな開きが見られます。なお、前回調査と比較すると、一般高齢者では「高くなってもよい」「低い方がよい」とも前回に比べ増加しており、非受給者であっても、介護保険に対する認識度は増していることがわかります。



(3)希望する介護形態

各対象者とも「自宅で保健・福祉サービスを活用する」がもっとも多く、特に「一般高齢者」「第2号被保険者」では3割を超えています。

「要支援」「要介護」の対象者は「自宅で介護サービスを活用する」が多く、総じて自宅での介護を望む声が多くなっています。

「一般高齢者」「第2号被保険者」では、「介護保険施設」「小規模施設」など施設系での介護の意向が多くなっています。

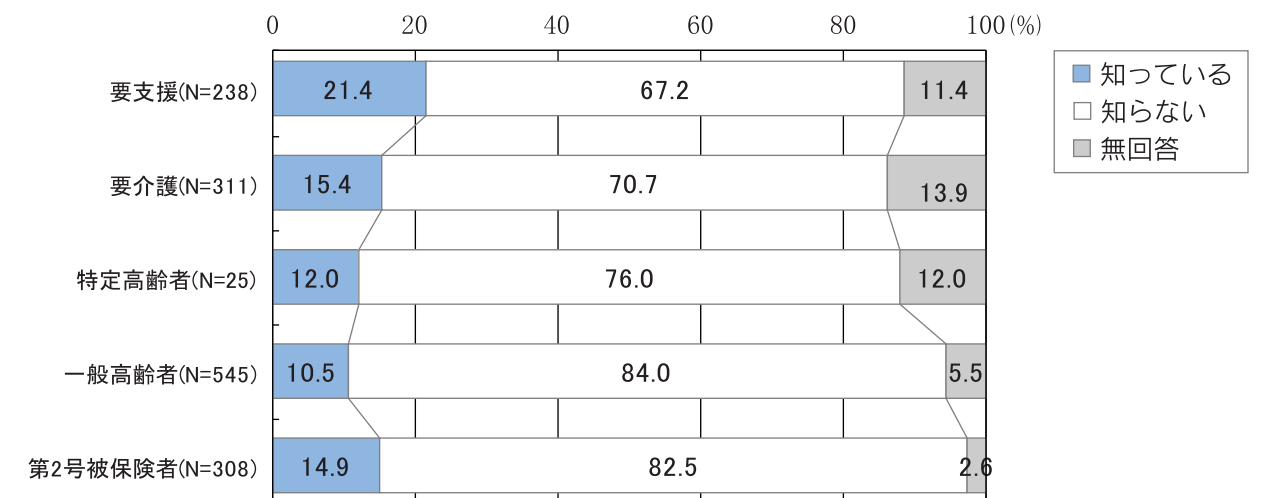
一般高齢者を前回と比較すると、若干ではあるものの「自宅で保健・福祉サービスを活用する」が減り(今回31.7%、前回35.2%)、「介護保険施設」への意向が高くなっています。(今回15.2%、前回12.2%)

	家族介護	自宅で保健・福祉サービス活用	自宅で介護サービス活用	小規模施設	介護保険施設	その他	わからない	無回答
要支援(N=238)	8.4	26.9	14.3	5.0	7.1	4.2	23.1	11.0
要介護(N=311)	10.9	27.3	10.0	3.5	5.5	3.9	13.8	25.1
	家族介護	自宅で保健・福祉サービス活用	自宅で介護サービス活用	小規模施設	介護保険施設	わからない	無回答	
特定高齢者(N=25)	4.0	44.0	8.0	12.0	20.0	4.0	8.0	
一般高齢者(N=545)	13.0	31.7	8.6	5.7	15.2	19.8	6.0	
第2号被保険者(N=308)	5.8	33.8	4.5	14.0	15.3	24.4	2.3	(単位:%)

(4)地域包括支援センターについて

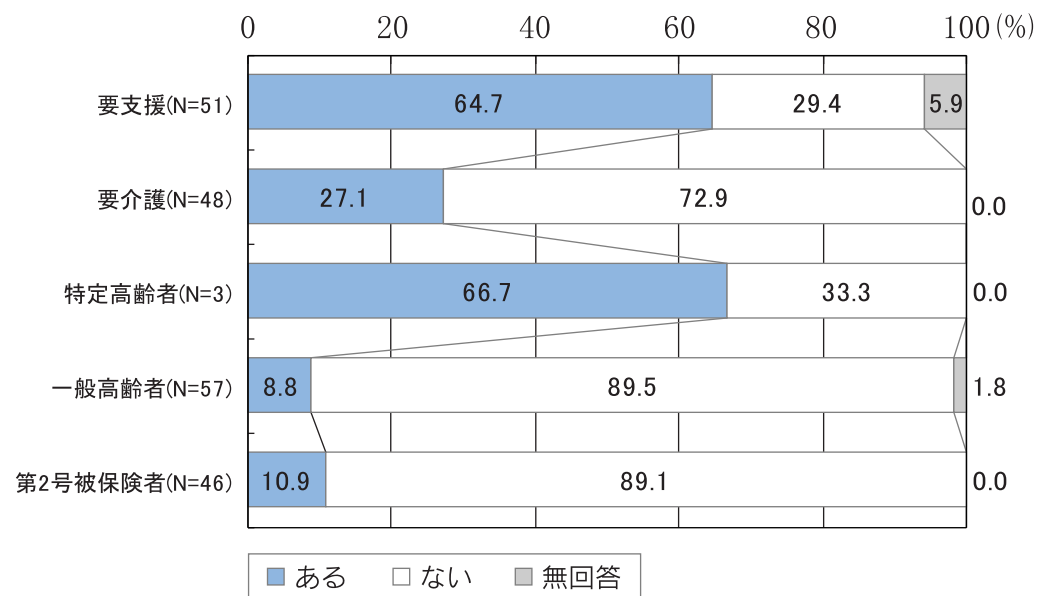
①認知状況

「地域包括支援センター」については、「要支援」の対象者が21.4%でもっとも高い認知率となっているほかは、いずれも10-15%程度の認知率となっている。



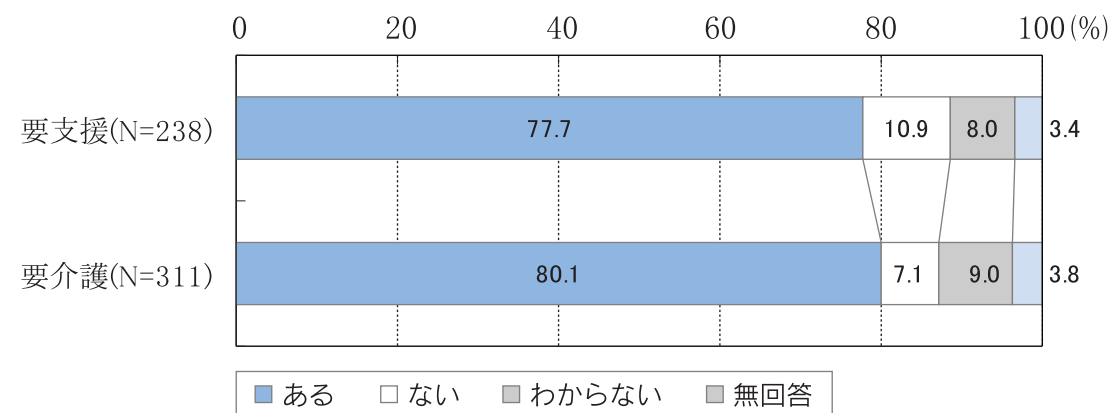
②利用経験

「地域包括支援センター」の利用経験については、回答者数が少ないために単純な比較はできないものの、「要支援」や「特定高齢者」については、介護予防関連での関わりから相対的に多くなっています。



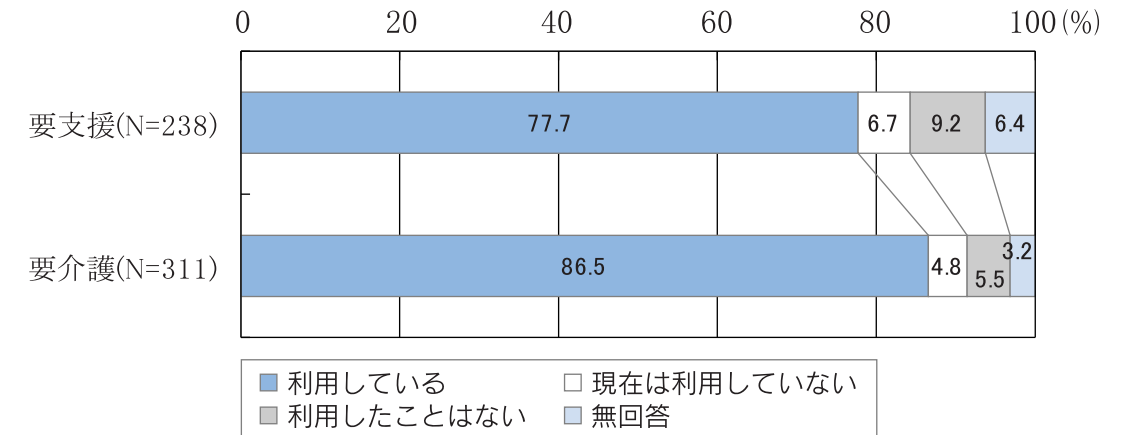
(5)介護保険制度改正の説明を受けた経験

平成18年4月からの介護保険制度の改正についての説明を受けたことのある対象者は、「要支援」「要介護」とも80%前後と高い率となっています。



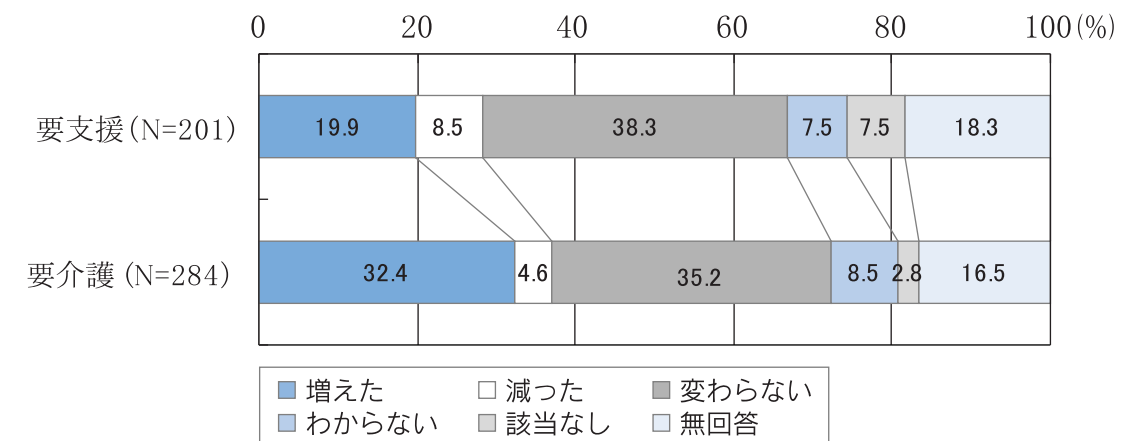
(6)介護保険サービスの利用状況

現在利用している対象者は「要支援」77.7%、「要介護」86.5%と介護度が高いほど利用率は高くなっています。



(7)平成18年4月以降介護サービスの利用料金の変化

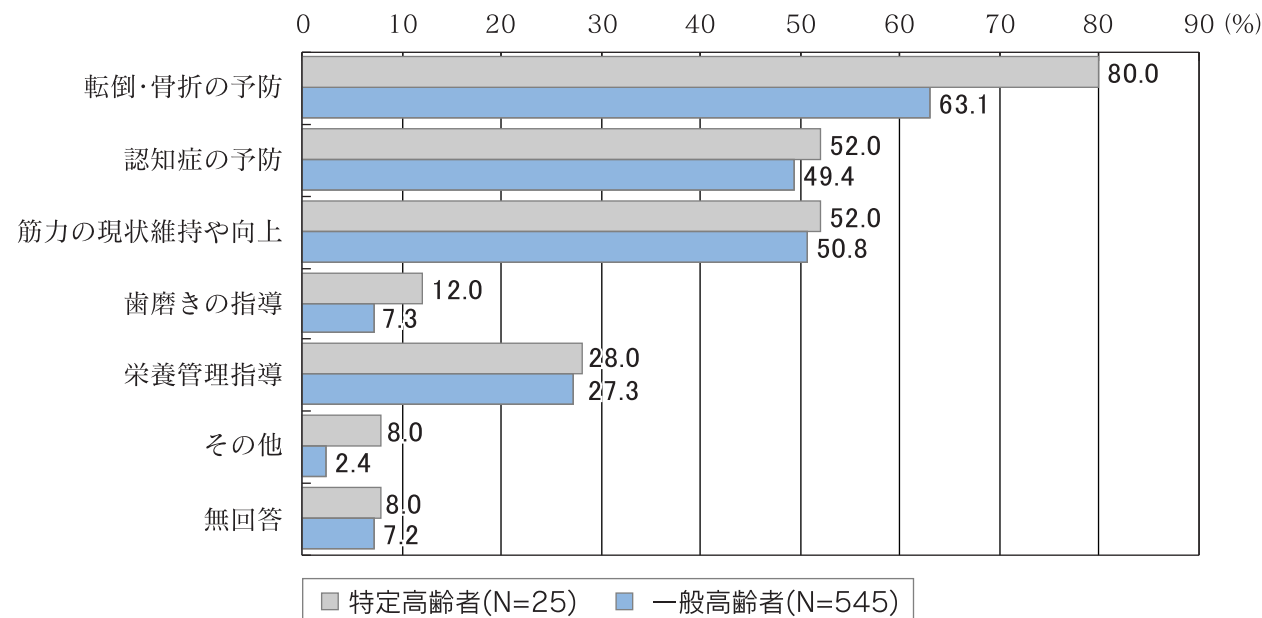
「利用料金」の変化でみると、「要支援」「要介護」の対象者はいずれも「変わらない」がもっとも多いものの、「要介護」は、改正後むしろ「増えた」と回答した対象者が32.4%と3人に1人の割合とかなり多くなっています。



6 地域支援事業について

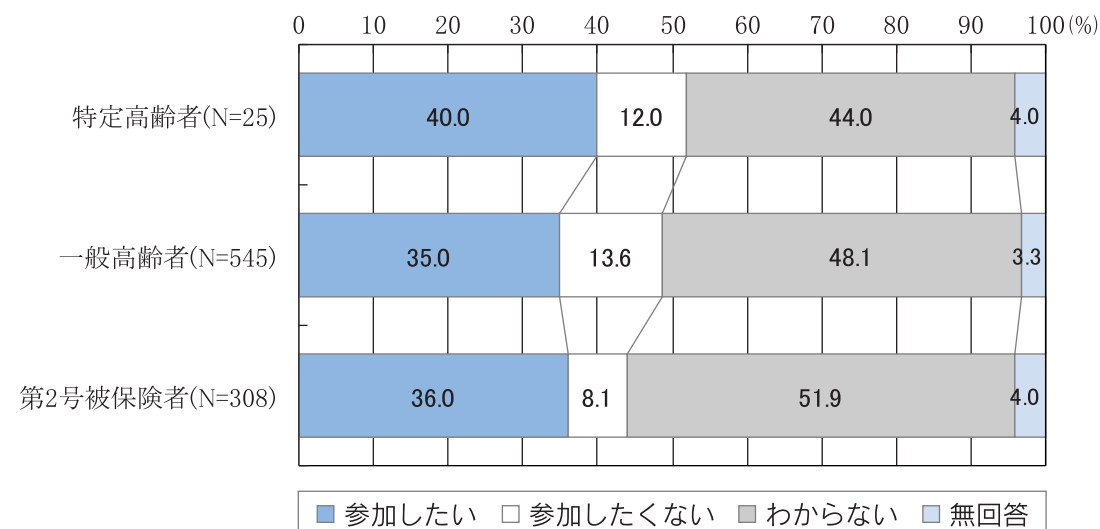
(1) 今後必要な介護予防や身体状況の悪化防止のための取り組み

「特定高齢者」「一般高齢者」とも「転倒・骨折の予防」がもっとも多く、次いで「認知症の予防」「筋力の現状維持や向上」と、これら3項目への取り組みが圧倒的に多くなっています。



(2) 介護予防事業への参加意向

「参加したい」が「特定高齢者」で40.0%、「一般高齢者」で35.0%、「第2号被保険者」で36.0%と、いずれもほぼ4割前後となっています。



7 健康について知りたいこと

「特定高齢者」では「望ましい食生活」が最も多く、次いで「生活習慣病にならないための工夫」「認知症の予防」となっています。

「一般高齢者」「第2号被保険者」は「生活習慣病にならないための工夫」「望ましい食生活」の順となっており、その次に「認知症の予防」が続きます。

「一般高齢者」について、前回と比較すると、「生活習慣病にならないための工夫」「望ましい食生活」「認知症の予防」の上位3項目は変わらず、比率的には「生活習慣病予防」が今回45.7%に対し、前回44.3%、「食生活」は今回33.4%に対し、前回30.7%、「認知症の予防」は今回31.6%に対し、前回26.8%といずれも今回の方がウエイトが若干高くなっています。

(単位:%)

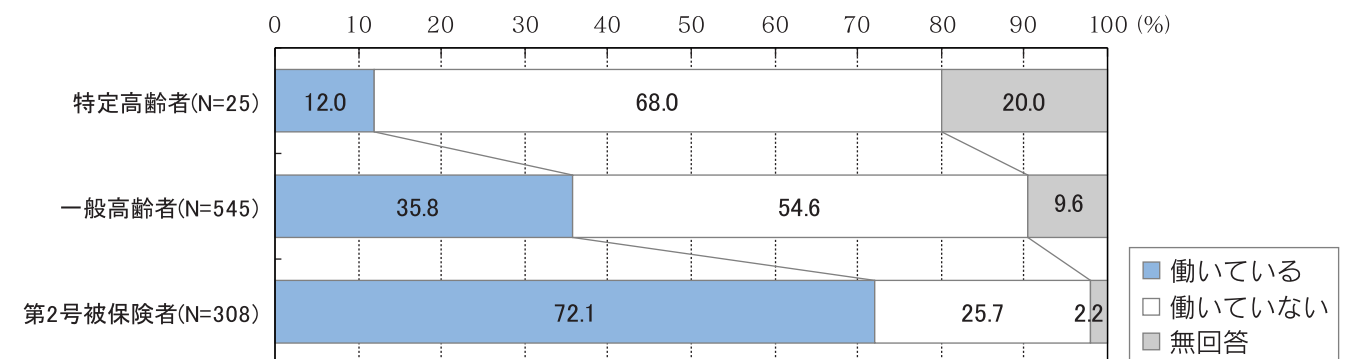
	生活習慣病にならないための工夫	望ましい食生活	運動の方法	ストレス・休養	検診の内容や受け方など	寝たきり予防
特定高齢者(N=25)	48.0	52.0	44.0	28.0	16.0	24.0
一般高齢者(N=545)	45.7	33.4	20.7	17.2	15.8	16.7
第2号被保険者(N=308)	44.2	32.5	20.5	29.9	7.5	8.8
	歯の健康	介護教室	認知症の予防	その他	特になし	無回答
特定高齢者(N=25)	20.0	16.0	48.0	12.0	16.0	-
一般高齢者(N=545)	10.6	6.8	31.6	0.9	22.8	4.6
第2号被保険者(N=308)	14.3	6.2	28.2	1.0	16.6	2.3

8 就労状況について

(1) 就労状況

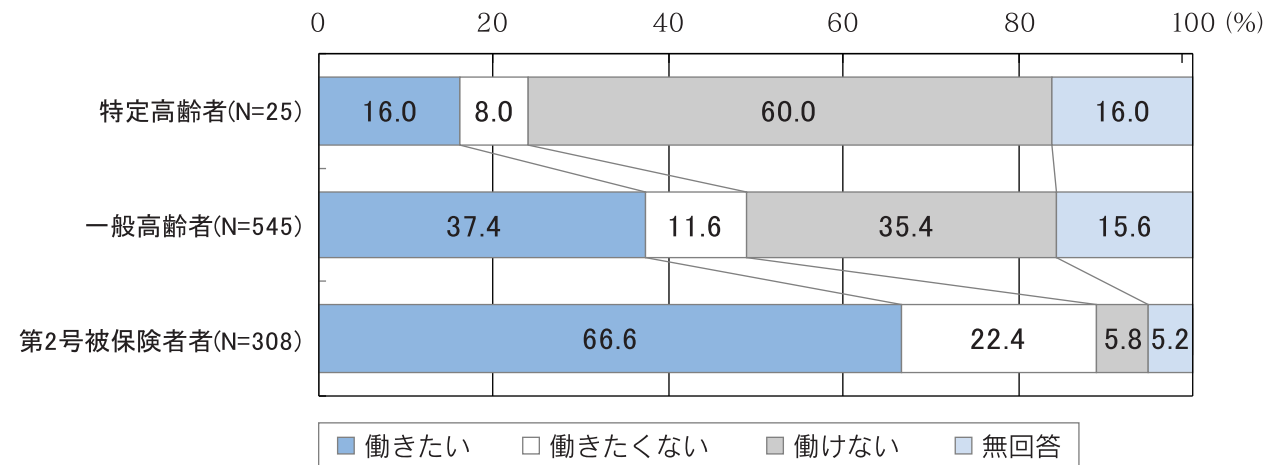
現在、なんらかの形で就労している対象者は、「特定高齢者」12.0%、「一般高齢者」35.8%「第2号被保険者」72.1%とそれぞれの現在の生活状況を反映した結果となっています。

「一般高齢者」を見ると、前回は「働いている」42.3%、「働いていない」56.8%、「無回答」0.9%となっており、無回答の比率を考慮すると、それほどの変化はみられません。



(2) 今後の就労意向

就労希望対象者は、「特定高齢者」16.0%、「一般高齢者」37.4%「第2号被保険者」66.6%と、ほぼそれぞれの現在の就労状況に沿った結果となっています。

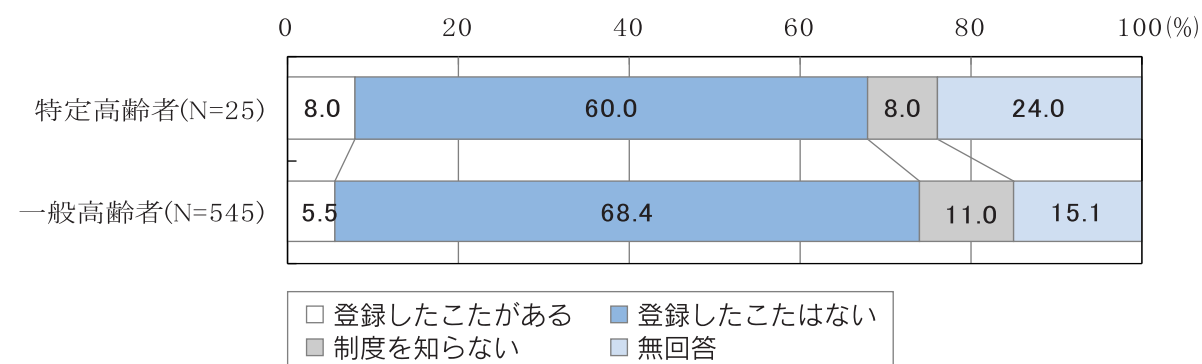


(3) シルバー人材センターについて

①登録状況

「登録したことがある」対象者は「特定高齢者」8.0%、「一般高齢者」5.5%と低率であり、60%から70%は「知っているが登録したことがない」と回答しています。

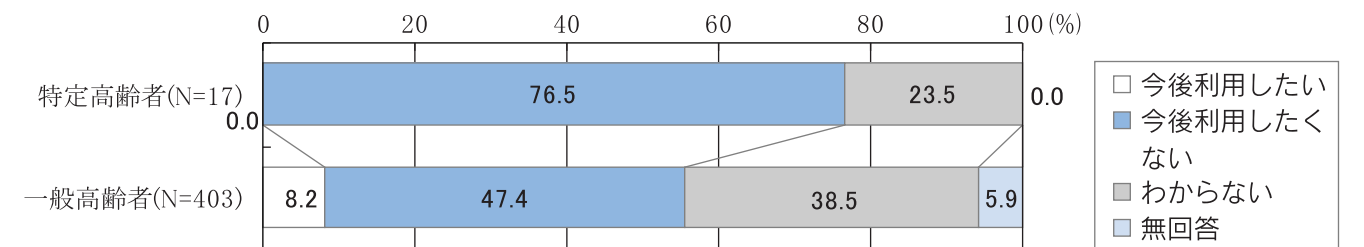
「一般高齢者」を見ると、前回は「登録したことがある」6.5%、「知っているが登録したことはない」71.6%、「制度を知らない」14.2%となっており、登録率は減少傾向にあるものの、制度そのものの認知度は上がっています。



②今後の利用意向

「利用したい」対象者は「特定高齢者」0%、「一般高齢者」8.2%と低い率となっています。ただし、「一般高齢者」は「わからない」の割合が38.5%と4割近くを占めており、判断がつかない対象者が相当数にのぼることがわかります。

「一般高齢者」を前回と比較すると、前回は「利用したい」11.0%、「利用したくない」49.6%、「わからない」35.7%となっており、若干ではあるものの利用意向率は増加しています。



9 今後してみたいこと

「特定高齢者」は「近所の人や友人、知人とのつきあい」がもっとも多く、ついで「買物や旅行に出かけること」となっており、これら2項目が圧倒的に多くなっています。「一般高齢者」も同様に、「近所の人や友人、知人とのつきあい」「買物や旅行に出かけること」の2項目が20%前後で上位を占めるものの、「趣味の活動、趣味を活かすこと」「老人クラブの活動に参加すること」「学習すること、教養を高めること」もほぼ同様な割合で並んでおり、「元気高齢者」「生涯現役高齢者」として、地域等との多様な関わりを持とうという意欲が示されています。

「一般高齢者」を見ると、前回は「買物や旅行に出かけること」(18.2%)「趣味の活動、趣味を活かすこと」(18.1%)「老人クラブの活動に参加すること」(16.8%)が上位を占めており、今回とほぼ同様な結果となっています。

ただし、「学習すること、教養を高めること」(今回17.2%、前回12.7%)、「ボランティアなど地域に貢献すること」(今回14.1%、前回10.3%)など自己啓発や地域活動への意欲に関する項目については増加傾向にあります。

	働くこと	学習すること、教養を高めること	スポーツやレクリエーションを行うこと	趣味の活動、趣味を活かすこと	ボランティアなど地域に貢献すること	老人クラブの活動に参加すること	近所の人や友人、知人とのつきあい	孫の世話や家族とのだんらん
特定高齢者(N=25)	20.0	20.0	12.0	36.0	16.0	20.0	48.0	28.0
一般高齢者(N=545)	10.5	17.2	14.9	18.9	14.1	17.4	20.6	14.7
	買物や旅行に出かけること	自治会等の活動に参加すること	蓄えてきた知識や技術を生かすこと	パソコンやインターネットをすること	その他	特になし	無回答	
特定高齢者(N=25)	44.0	12.0	20.0	-	4.0	8.0	24.0	
一般高齢者(N=545)	19.6	9.2	11.7	12.5	1.5	9.4	38.0	

(単位:%)

10 今後、力をいれてほしい高齢者施策

「特定高齢者」「一般高齢者」は「寝たきりにならないための施策」がそれぞれ40.0%、30.6%ともっとも多く、次いで「特定高齢者」は「健康教室など健康づくりの推進」(32.0%)、「一般高齢者」は「病院や診療所などの医療機関」(27.3%)となっており、総じて介護予防に係る施策への要望度が高くなっています。

「第2号被保険者」は「高齢者の働く場の情報提供や就労機会の提供」が35.4%で圧倒的に高く、現役世代として、高齢者となっても就労したいという意識が強く示されています。

以下、「寝たきりにならないための施策」「健康教室など健康づくりの推進」「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」「高齢者向け住宅の整備や住宅改造の支援」などが20%台で続いています。

(単位:%)

	ボランティア活動やスポーツ活動など生きがいづくりの推進	健康診査や健康相談の充実	健康教室など健康づくりの推進	高齢者の働く場の情報提供や就労機会の提供	福祉や生活に関わる相談の充実	高齢者向け住宅の整備や住宅改造の支援	ホームヘルパーなどの在宅サービス	特別養護老人ホームなどの施設サービス	病院や診療所などの医療機関	寝たきりにならないための施策
特定高齢者(N=25)	12.0	20.0	32.0	4.0	8.0	16.0	16.0	8.0	24.0	40.0
一般高齢者(N=545)	11.7	24.6	12.5	5.9	10.8	12.1	15.4	9.4	27.3	30.6
第2号被保険者(N=308)	16.9	15.3	5.8	35.4	19.5	20.8	18.8	13.0	21.1	21.8
	認知症にならないための施策	虐待防止や財産保全など高齢者の権利を守る施策	高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成	道路の段差解消など人にやさしいまちづくりの推進	高齢者が身近な地域で集まれる場づくり	災害時等の避難体制整備	その他	特にない	無回答	
特定高齢者(N=25)	24.0	—	16.0	12.0	20.0	4.0	—	—	8.0	
一般高齢者(N=545)	17.8	2.9	15.4	11.7	12.5	9.4	0.6	6.8	7.3	
第2号被保険者(N=308)	12.7	5.2	21.1	13.0	14.9	10.4	0.3	0.6	4.9	